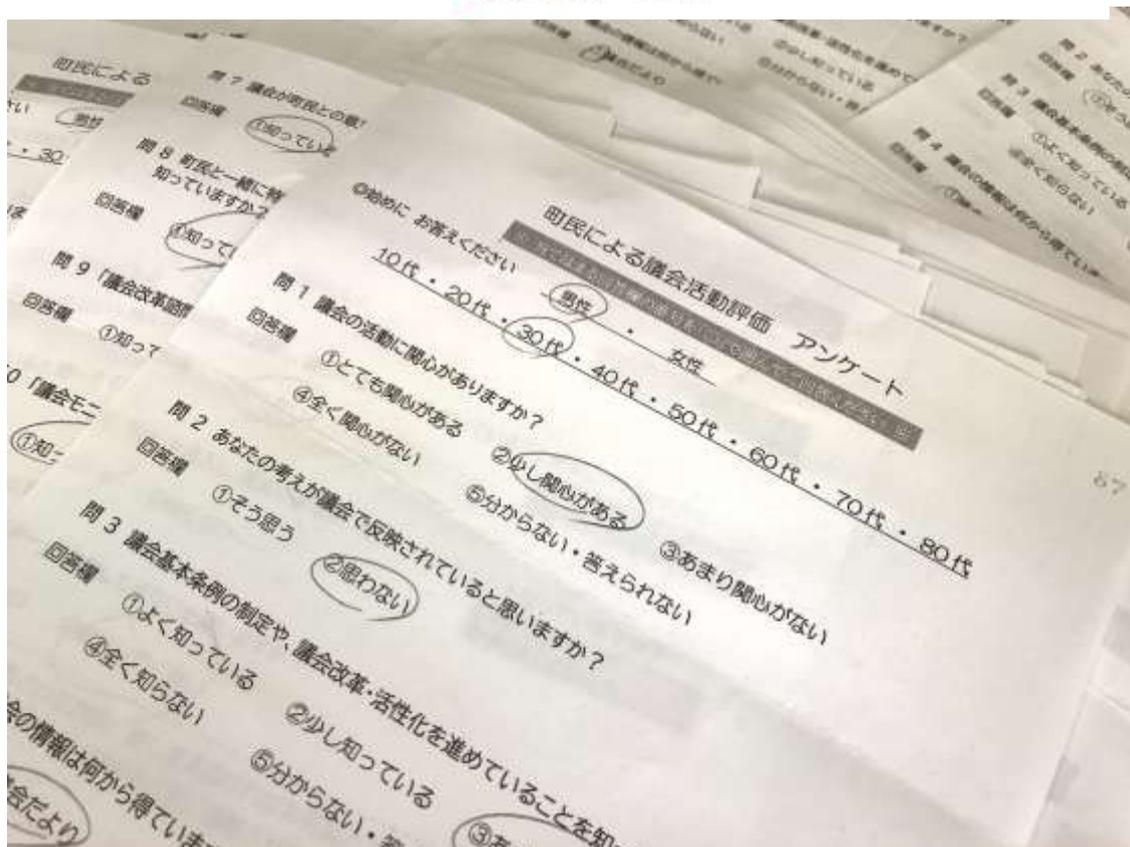
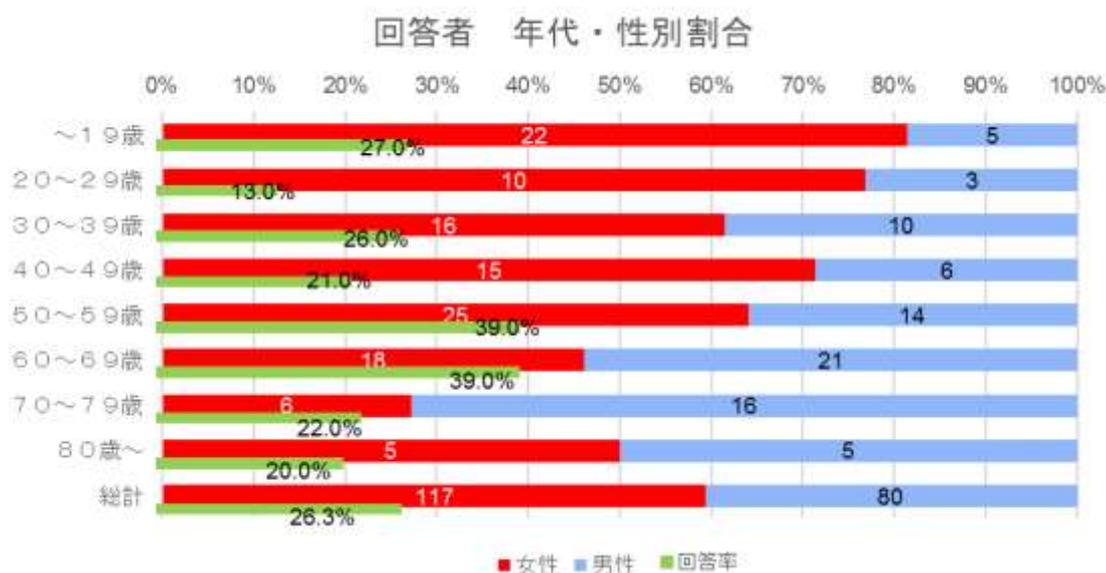


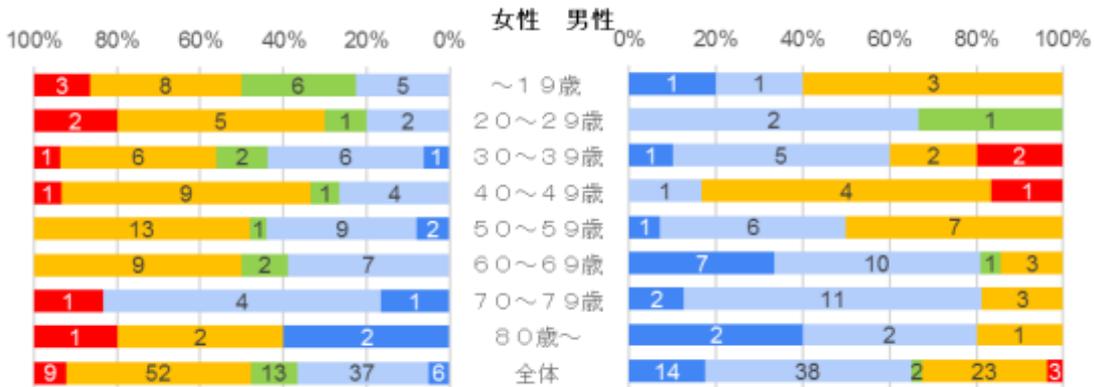
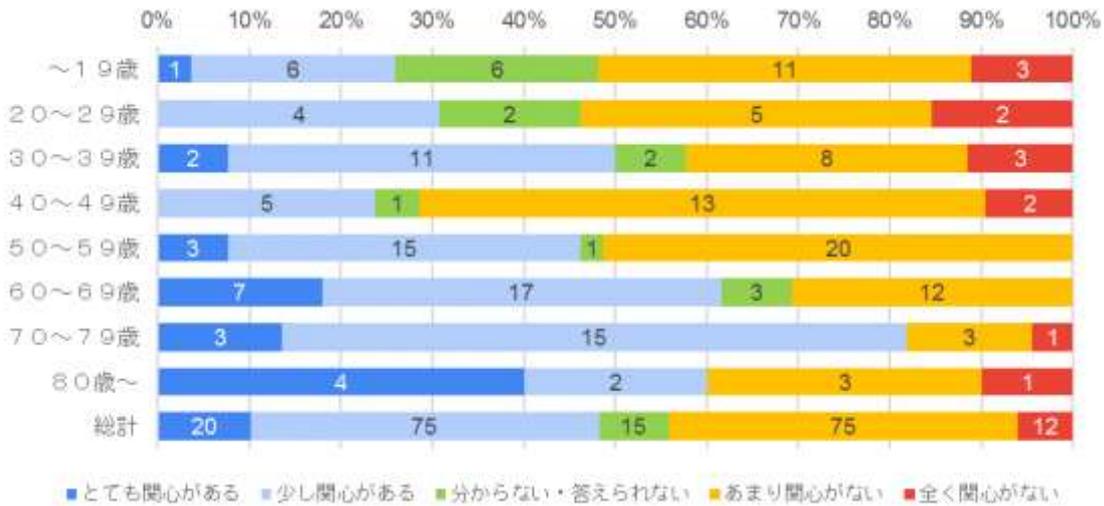
町民による議会活動評価(アンケート調査)結果及び分析

■活動評価(アンケート)について

- 1 調査期間 令和2年4月17日～令和2年4月30日
- 2 調査対象 無作為抽出による町民700名(各年代男女 100名)
- 3 回答数 197名(回答率27.85%)
- 4 結果概要・分析結果 以下に記載



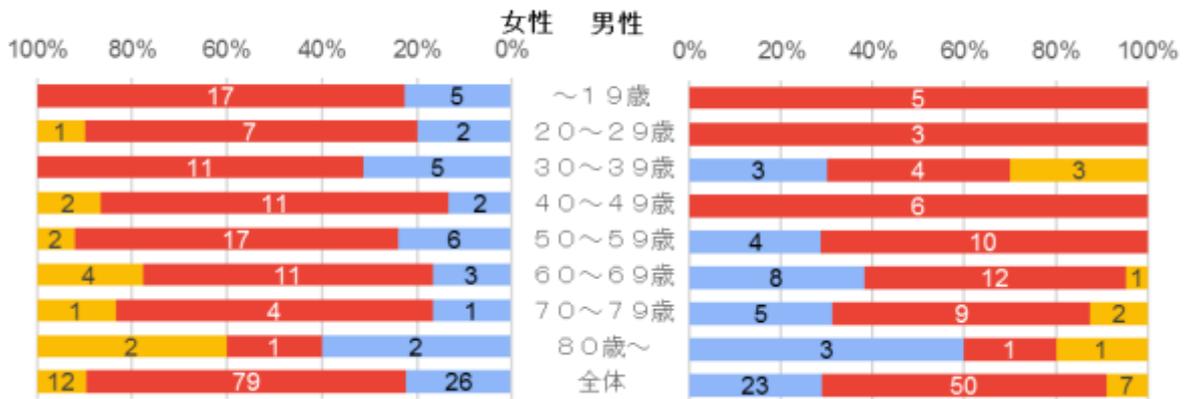
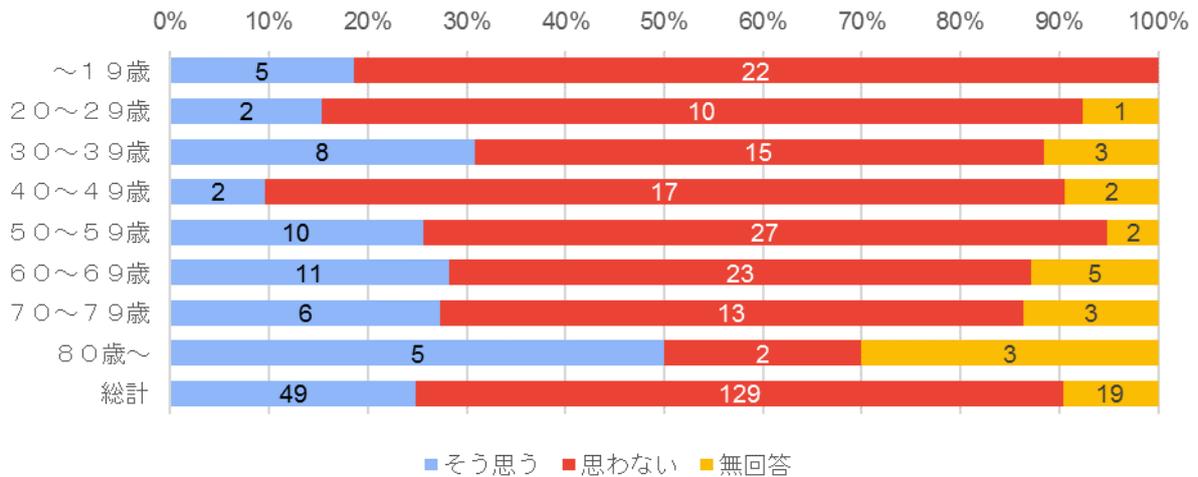
問1 議会の活動に関心がありますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては、関心がある・無いが、ほぼ半数ずつの結果 70代が最も関心が高く、60代、80代・30代と続く 20代が最も関心が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢になるほうが何らかの形で町政や議会と関わるが増えてくるから 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人に関係者がいるかも 「関心あり」と回答した方々は、何かしらの機会に政治が身近に感じる機会があった 自分事として関わっているか 高齢者は時間の余裕ある 若い人はいろんなことに関心が薄い・経験値が低い 40代は仕事が忙しいから
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 「参加のしがい」を意識した取り組みが必要 40代が一番関心を持ってもらいたい年代 	<ul style="list-style-type: none"> 20代には、高校生との意見交換継続する →「未来の大人」へのアプローチ 40代へのアプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> 関心ある人を「80%」に 平均値の低い年代層を平均値まで引き上げる

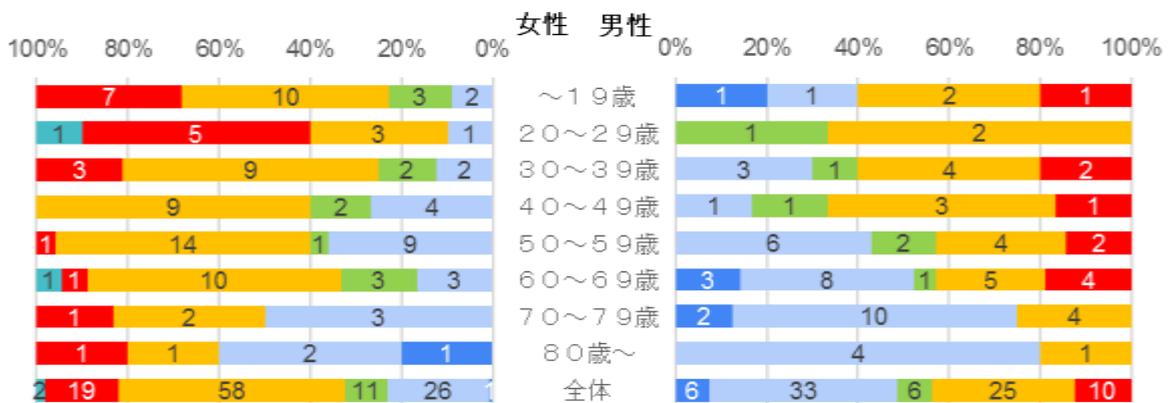
問2 あなたの考えが議会で反映されていると思いますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては「思わない」割合が3分の2ほど存在する 80代・30代が比較的「そう思う」割合が多く、高年代ほど、若干高い 女性に比べ男性が、やや「そう思う」割合が多いが、10代・20代・40代では「そう思う」はゼロ 一方女性は、全年代で「そう思う」が一定程度存在する 無回答が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 関心がある＝考えが反映されている。とは言えない 年代高いほど議会に関心がある。その年代の評価としての結果。 「意見をいっても反映されていない」方と、「意見をいう機会がない」方、両方の評価がある 問1で分析したことも含まれている 	<ul style="list-style-type: none"> 「あなたの考え」なので、その考えを言える場、表明する場がこの年代では少ない 議会が発信している情報が自分の生活からかけ離れている(身近に感じない) ほとんどの人が「反映されない」のでは 若者政策の無さに対する結果 議会のアプローチが理解されていない、うまく伝わっていないのでは
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 「言う機会がない」方々へは、さらなるアプローチが必要 町民の意見が反映される議会であるべき 議会と町民が同じ方向を向いているか 	<ul style="list-style-type: none"> 議論の活発化 議論の見える化 伝える手段の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 「反映されていない」層を減らす

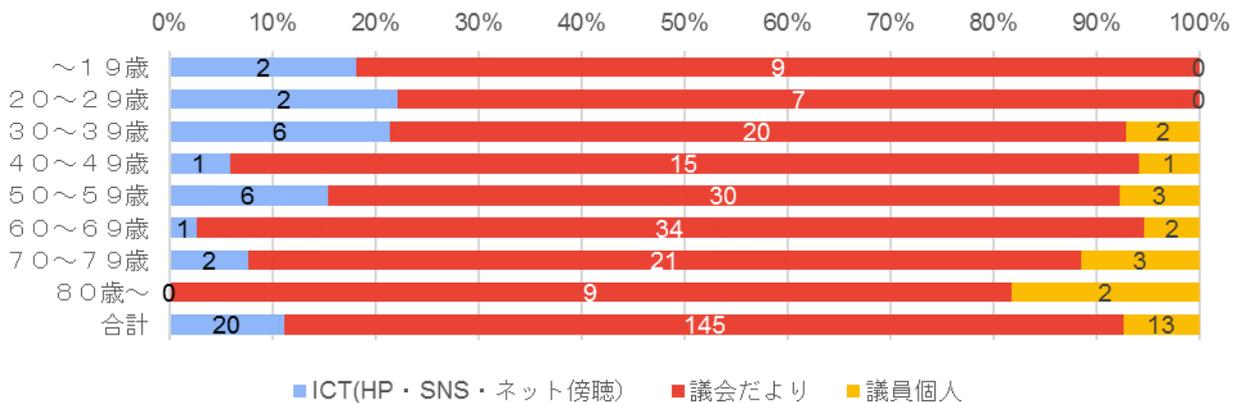
問3 議会基本条例の制定や、議会改革・活性化を進めていることを知っていますか？



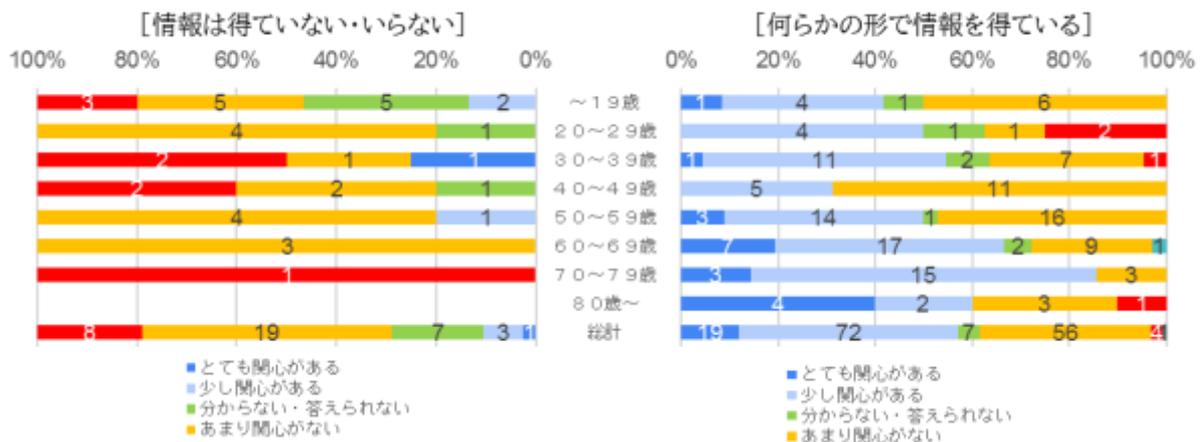
▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体として「知っている」人の割合は3分の1程度 年代が上がるとともに「知っている」が多くなる傾向で、70代以上では2/3が「知っている」 その一方で、50代、60代は3分の1。20代は一桁の認識度となっている 男女比較では、やや男性の方が「知っている」割合が多い傾向 	<ul style="list-style-type: none"> マニフェスト研究所の結果等は議会として積極的に発信してこなかった 条例の制定がどういう意味を持つのか、議会改革や活性化がどういうものであるのかがわからない 1/3程度が知っているのは意外な数字 	<ul style="list-style-type: none"> 改革は誰のためのものか理解されていない 条例制定議論のころは頻りに情報発信していた？ 在住年数にもよる
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 伝え方の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 条例が制定されている意義、議会改革や活性化に取り組みことは住民にとってどのような意義があるのかを、より多くの住民や若年世代に向けた発信 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度(議会基本条例・改革・活性化)を向上する

問4 議会の情報は何かから得ていますか？(複数回答可)



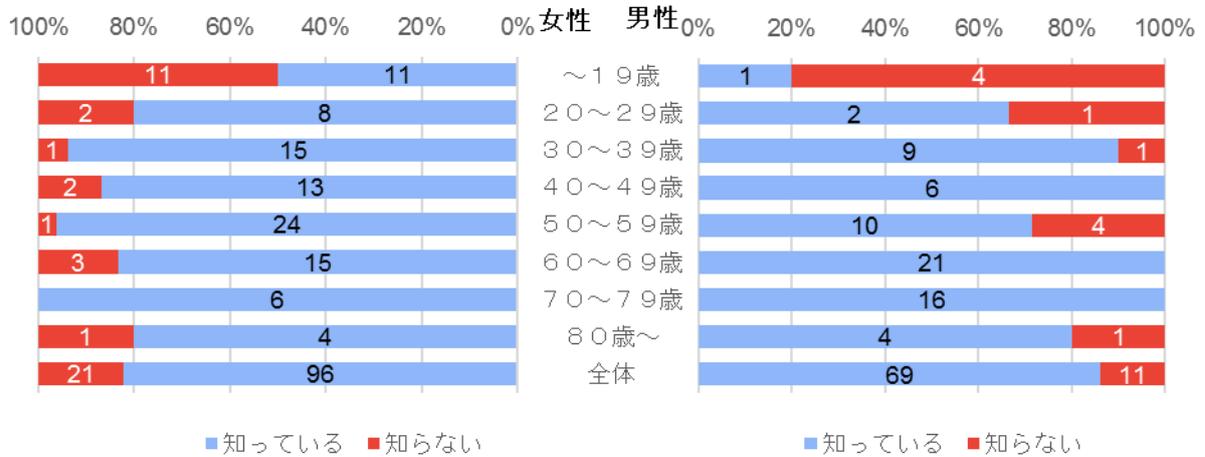
■議会の情報入手の有無と議会への関心度



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりが圧倒的に多い 女性は2番目には「情報は得ていない・知らない」の回答。しかも3割程度もある。 ICTツール(HP、SNS、ネット傍聴)からの情報入手は、30代以下の年代で2割と、他の年代よりも比較的多い 一方で、「議員個人」から得ているのは年代が高いほど多くなる傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月発行していることが周知に繋がっている 議会だよりが情報入手手段の主である 議会だよりは情報ツールとして欠かせないものという認識 ICTツールを使いこなせる人はSNS等を気にしている 関心のないものはゴミ箱に行くが、関心があるものは手に取ってみるはず 議員と年代が近い人は議員から情報を得ている 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌「すまいる」と一緒に発行 毎月出しているから目に触れる効果が大きい 家族が見ることで自分も目にすることもあるのでは 「議会の今」が見えるツール 正しい情報を正確に早く伝える 若い人は時間が無いのか、興味が無いのか 関心が無いから情報を見ない・得ていない 議会と町民との関係性 意見交換で話した人かも
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりは、情報発信ツールとしては一番気を付けて、きちんとしたものを作らないといけない 発信に工夫(見せ方、絵画が同じ)が足りない 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組み(議会だよりの毎月発行)を継続する 町民主宰イベントなどでの情報発信 SNSによる情報発信の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な方法で情報を得られる 議会に関心をもってもらう入口となる

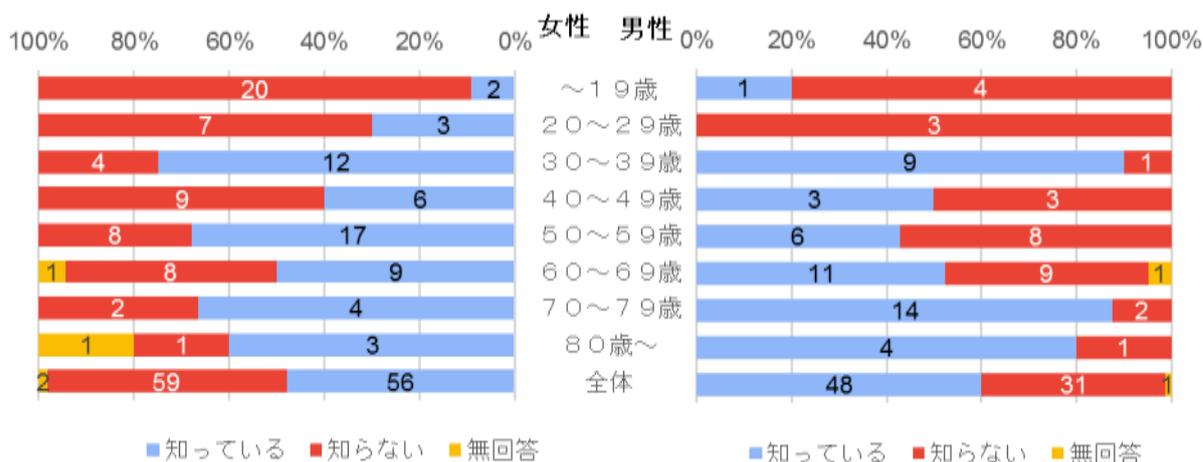
問5 「議会だより」が毎月発行されていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> ・10代を除き、全年代で「議会だより」の認知度は高い ・議会活動に関心が低い年代層であっても「議会だより」の存在は知られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・問4(の議会だより)と同様 ・10代が低いのは「すまいる」も同様かも ・知っているのと読んでいるのは違う ・問5以下の「知っている割合」が5割程度であり、知っていても読んでない 	<ul style="list-style-type: none"> ・白黒でチラシのような感覚なのかも ・毎月発行していることが分かる記載がない ・家族が見ない ・家族が見たらすぐにしまって(廃棄)してしまう ・関心が無いから開かない
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・全世代に認知してもらう必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの毎月発行を継続する ・体裁・仕様の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行していることを知ってもらう

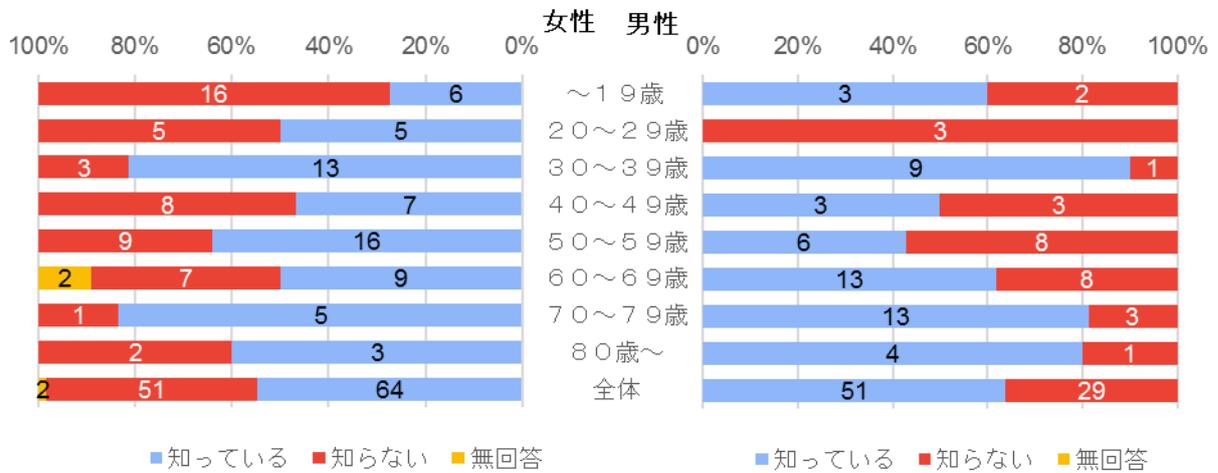
問6 議会が各種団体等との意見交換会を行っていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては概ね半数が「知っている」 男性では、70代以上、30代で「知っている」が多い。一方で20代はゼロ 女性では30代、50代、70代以上の「知っている」が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 「問7」「問8」と似た傾向 意見交換を行っている世代の認識度は高い 若い世代は「関心が無いこと」に集約できるのでは 若い世代へのアプローチは、成果が出るには時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 「認識度が低い」年代との意見交換を行っていないから低い 団体所属の人だから 議会だよりが情報源
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 「対話の場づくり」は議会の役割の一つ 毎年同じ団体と(マンネリ化?)と実施している 意見交換で「団体」「町民」の区別がついていない 団体から声をかけてくれない 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して意見交換を実施していく 	<ul style="list-style-type: none"> 常任委員会の課題政策化の情報ソースとして位置づけ

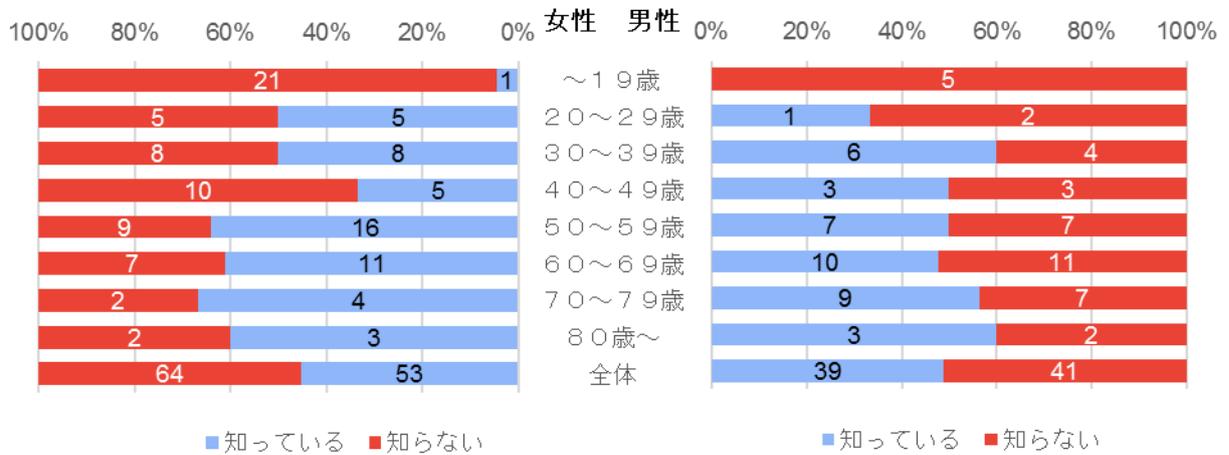
問7 議会が町民との意見交換会(議会報告会)を行っていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては概ね半数から6割程度が「知っている」 男性では、70代以上、30代で「知っている」が多い。一方で20代はゼロ 女性では30代、50代、70代以上の「知っている」が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 「問6」「問8」と似た傾向 町民にとっては各種団体も意見交換会も区別がつかない 意見交換を行っている世代の認識度は高い 	<ul style="list-style-type: none"> 「認識度が低い」年代との意見交換を行っていないから低い 他の友達などに「体験したことを伝えたい」というところまで達していない 議会だよりが情報源
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 意見交換で「団体」「町民」の区別がついていない 意見交換の後処理が追いついていかない 政策サイクルが回らない どこにも所属していない町民が意見を言う場がない 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して意見交換を実施していく 	<ul style="list-style-type: none"> 町民意志の政策化ツールとしての位置づけ

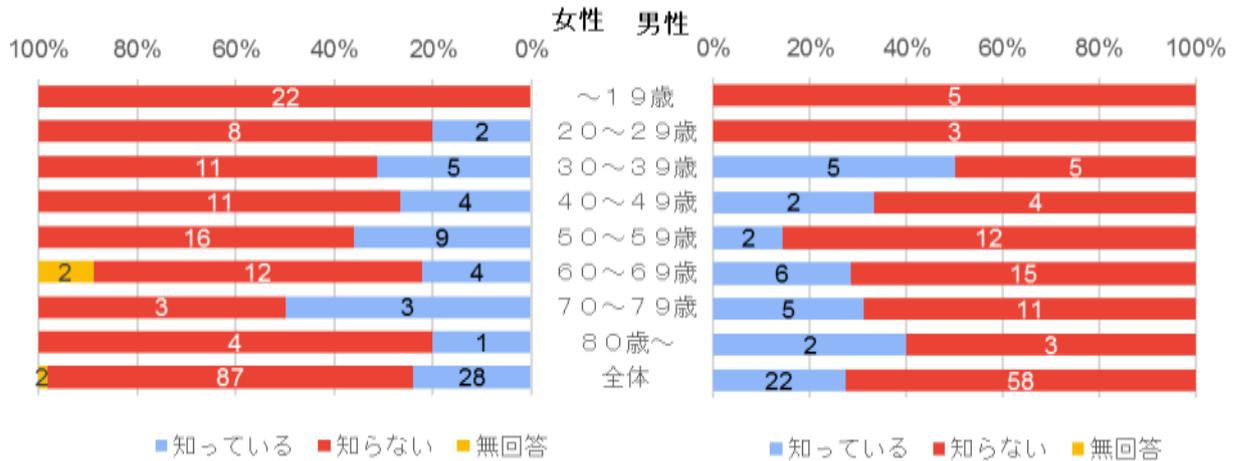
問8 町民と一緒に特定の課題を学び意見を交わす「議会フォーラム」を行っていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては概ね半数が「知っている」 全体的に一定の割合(概ね半数程度)が「知っている」 年代別の傾向は「問6・7」と類似しているが、極端ではない 	<ul style="list-style-type: none"> 「問6」「問7」と似た傾向 意見交換を行っている世代の認知度は高い 一定の認知度があるのは、PR活動の成果 	<ul style="list-style-type: none"> 「認知度が低い」年代との意見交換を行っていないから低い 新聞の折り込みも情報周知としては効果があった フォーラムでの意見を聴きっぱなしで終わっている。次のアクションに踏み出せてない 他の友達などに「体験したことを伝えたい」というところまで達していない 直接のお願い、周知活動 前回フォーラムとの間に期間が空いたため認知度が高くない
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 議会内部で課題共有されていない 議員が主体的に関与していない 半数以下の認知度 	<ul style="list-style-type: none"> 計画段階から全議員が関与する場づくり 継続的に開催する 	<ul style="list-style-type: none"> 町民と議会の情報共有・課題共有、対話の場である まちの課題を共有する町民が増える

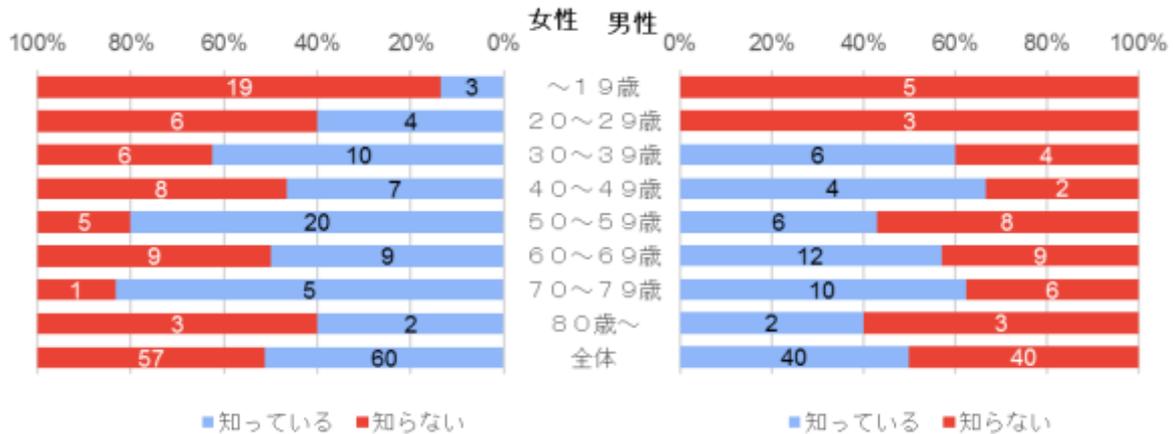
問9 「議会改革諮問会議」を設置し、議会に意見をいただいていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> ・全体の認識度は2割程度 ・最も高いのは男性 30代、女性 70代で、ともに5割程度 ・10代、20代の認識度はかなり低い(ほぼゼロ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定内の数字 ・思った以上の結果 ・住民には議会の会議体には関心がない ・前年度は会議を設置していないこともあり、議会からの発信もない 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報源は議会だけよりか
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・案件がなく諮問会議が開かれていない ・諮問内容・議論内容が情報提供できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問会議から出された「答申」を議会がどのように扱っているのか、町民に情報提供していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・「議会内部だけでなく町民の声を反映して議会運営していること」を町民に知ってもらえている

問10 「議会モニター制度」を導入し、議会に意見をいただいていることを知っていますか？



▼分析と行動案

分かること(事実)	言えること(推論)	それはなぜか(原因・要因)
<ul style="list-style-type: none"> 全体としては概ね半数が「知っている」 男性では、10代、20代の認識度がゼロ。他の年代は概ね5割から6割の認識度 女性は、10代は低い。一方で50代、70代は8割、30代は6割の認識度 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の認知度を上げるには若い世代の方にモニターを担ってもらうしかない 10代、20代はどの設問でも低い 「知らない」と答えてくれたこと自体を評価したい 町民の認知度は高い 全体的には周知が進んでいる 芽室高校・白樺高校の生徒にもう少し芽室町在住者が多ければ回答は変わったかも 	<ul style="list-style-type: none"> 10代のモニターさんに参加していただいた実績(おそらく)がない 芽室高校・白樺高校の生徒にもう少し芽室町在住者が多ければ回答は変わったかも 認識度が高いのは、議会だよりのモニターさんのコメント 議会だよりで特集を掲載している
あるべき姿とのギャップ(課題)	具体的アクション(解決・改善策)	目標・目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> 町民の意見に対して議会が応えられていない 公募は難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数でも若い方を積極的にアプローチ 議会だよりでPRしていく 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な年代が参加する 幅広い年代の認知度を上げる 積極的に議会に関わっていく町民を増やしていく

[自由記載]

所管委員会	意見
議会運営委員会	<p>・あまり身近に感じない。議会だよりを読んでいるがわかりにくい。(詳しく、長すぎ)「5分でわかる議会」みたいなもっと簡単に手軽に議会で話されていることがわかるよう紙面を工夫してほしい。(今回の資料も文字おおすぎてわかりにくい)</p> <p>・日頃考えていることが誰かの議員さんより発信、質疑されていると感じる。一般人の対話技術が上がっていくとより一体感が出てやり方によって盛り上がっていると思います。議会だより町民全員が学べるので良いです。</p> <p>・議会だよりなどにより、積極的な発信がなされていて「わかりやすい議会」に近づいていると感じます。引き続き、いろいろな取り組みに期待しています。</p> <p>・議会だよりより、内容を確認させてもらっています。よりよい町にしてください。よろしくをお願いします。</p> <p>・勝手なイメージですが「議員＝行政にとりあえず文句を言う人」のイメージがあります。議員を通さなくてもホットボイスや町長とのそよかぜトーク等で町に声は届いている気がしているので議会だよりで内容を見ても時々そこを突っ込んで聞いてどうするのか？そんなことを言ってお給料もらってるなんてらくそうな仕事をしているなあ、その割にえらそうだなと思っています。</p> <p>・直近の議会だより、質疑内容資質に欠け勉強不足が目立ちます。女性議員の活躍に期待しています。</p> <p>・「議会だより」がわかりやすく、詳しい内容で感謝しています。より、やさしいものになることを願っています。</p> <p>・議員さんに意見を届ける機会が今の自分の生活には無く、モニター、フォーラムもどこか遠く感じます。(普段は仕事に追われていますので)家においても気軽に参加できると良いとは思いますが、自分も日々の忙しさにかまけて知ろうとしないのもいけないと思います。</p> <p>・白書に記されている通り住民の為町の為に分かりやすい(開かれた、行動する)議会を今後ともお願い申し上げます。※特に天変地圀、水害、伝染病(コロナなど)まさかの事象が現実になっています。よろしくお願い致します。芽室在40年一住民。</p> <p>・今は忙しく議会モニターに参加できません。若い人達が議会に意見できるように</p>

	<p>なれば、芽室町に住みたい人達が増えるのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会や議員さんを身近に感じられないので、身近に感じられる取組の周知を徹底的に行ってください。 ・芽室町議会ではそのようなことは無いと思いますが国会中継や政治討論会等を見ているとお互いを先生、先生と呼び合っている様子を見ると下品でトリ肌が立つ思いがします。芽室町議会ではこの様な事はないことを望みます。 ・個別に通信を出している議員さんがいる一方で(紙やFacebookなど)何をしているのか、本当に仕事をしてるの?というふうに思ってしまう人もいます。活動記録を一覧にしたものがあるといいなと思います。 ・町内会の関心の低さが町議会の関心の低さに繋がっていると感じる。町議の発案で町の運営が変わった事例があったら教えてほしい。町への提案の参考にしたい。 ・もっと町民目線になってほしいと思っております。 ・水害などの自然災害や新型コロナ災害等町民全体に関わる事柄に対して議会(議員)が町民から直接意見状況声を聞き町政に届ける取り組みを議会全体で動けないものか。 ・議会(議員共同で)直接町民の声を聞く取り組みをしてほしい。例えば保育所に通う子の父母から施設を利用する高齢者家族から保育所学童の職員から学校も。行政は施設等を運営する人から状況を聞いている。議会はそこで働く人や利用している人たちから声を聞くといいと思う。 ・「町民の声を聞き行政に届ける」議員(議会)になるのであれば議員報酬を仕事役割にふさわしい額に上げるべき。副業として議員をするのであれば若い人豊かとはいえない人々が議員になれない。そういう人たちの声が町政にとどきにくいことになる。そういう議会改革をしてほしいですね。本気の改革を。 ・議会に対する意見は特別な場所で話されている印象。日頃心に思うことは色々あるはず。もっと近い距離で伝える場があると町民目線の意見が集まると思う。 ・議会の先生もよく頑張っているけどもう少し町民に触れあって下さい。頑張ってください。
総務経済	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の除雪作業を強化し、町民の負担を減らしてほしい

<p>常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町長が変わり町全体も少しは良い方向に向くのではと思っていましたがあまり変化がきたいできない。他町村では今コロナ騒動で色々努力していますが我が町は500円の商品券とはどう考えてもおそまつ。誰が考えた？ ・農村部のインフラ整備をお願いします。 ・令和2年の農作業も始まりました。毎年この時期から11月末までの間トラクター作業されている一部の方ですが作業中公道に毎回乗り上げ旋回されるので道路が泥だらけです。作業終了後も清掃はしてくれません。どうか公道への乗り上げ旋回を広報誌などで禁止を呼び掛けていただきたいです。 ・芽室町は行動が遅い。町民が楽しめる場が少ない。例えば、嵐山の利用。昔はテニスコート、自転車、ミニ動物園、キャンプ場と遊べたのですが、今はパークゴルフだけ。子供から大人まで楽しめる場にしてほしい。
<p>厚生文教 常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役場窓口へ何度か出向き申し入れして来たがいつになっても解決しない為、今回の議会アンケートを利用させていただきお願いをしたい。緑町西町内会には公営住宅が有りその一部の住人が住宅の周りに物を置き煩雑にし近くに住んでいる住人の迷惑になっています。何十年も毎日この状態を見るのが苦痛です。近くに住んでいる住人の事も考えてほしい。公営住宅は町の管理であり入居時公営住宅入居規定で勝手に建物を建てられないと思います。はんぎつにはいけないと思います。規定に従えない入居者は退去させるべきです。議会でも検討願えませんか。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御苦勞さまです。これからも宜しくお願い致します。 ・町民の為芽室町の為活動されていると思いますが、今後も引き続きよろしく願い致します。 ・何にもありません。ありがとうございました。 ・特になし ・議員さんは皆さん芽室町を良くしようと頑張っているの信じている。